

地域生活支援事業（外出、交流支援事業）

当施設のある地区の公共交通機関は、路線バスのみで、また限られた便数での運行である。そのために、高齢者が移動する手段がないという問題があった。毎週木曜日に施設での昼食会を前提に、買い物・受診等の送迎を行っている。

社会福祉法人 **正友会**

〒766-0203 香川県仲多度郡まんのう町川東1502-1

TEL：0877-84-2201 / FAX：0877-84-2203 / E-Mail：yasuragiso@niji.or.jp

【法人の概要】

法人設立年：昭和51年11月

経営施設、事業（数）：3施設 16事業

経営施設、事業（種別）：

特別養護老人ホーム / ショートステイ / デイサービス / 居宅介護支援 等

【法人の理念・経営方針】

- ・信頼関係を築きながら、提供するサービスが満足していただけるよう日々努力研鑽します。
- ・社会福祉を地域と共に考え実践します。

実施施設の概要

施設名：特別養護老人ホーム やすらぎ荘

施設種別：特別養護老人ホーム

活動開始年：平成18年6月

活動の頻度・時間：週1回、1回あたり4時間

活動の対象者：地域の高齢者



活動実施の背景、実施にいたった理由

香川県の南西部、讃岐山脈の北麓に位置するまんのう町の中でも当施設のある地区は徳島県に接する山間部に位置している。公共交通機関は路線バスのみで、限られた便数での運行である。そのために、高齢者が移動する手段がないという問題があった。

また、山間部のために、家が点在しており独居の高齢者が多く他者との交流もままならないという状況である。高齢者からは、「診療所に受診したい」「買い物に行きたい」「知り合いに会って話がしたい」等の声が聞かれていた。当法人としては地域高齢者の外出、交流の機会を少しでも支援し、また施設が地域の福祉の拠点としての役割を果たせるよう平成18年6月より実施している。

実施内容

毎週木曜日に昼食会を中心として、親睦、入浴、買い物、受診、健康機器利用等を行っている。現在、登録者は20名で1回の利用者は平均8名程度である。午前10時過ぎから順次自宅へ迎えに行き、診療所まで送る。ほとんどの方が受診を希望し、ここで降車する。残りの1～2名の方がそのまま施設へ来ていただき、昼食までの間、他者との交流を図ったり健康機器を利用されている。診療所へ行かれた方は全員の診療が終われば迎えに行き施設へ来ていただく。昼食の後は、14時頃までそれぞれに談話されたり、健康機器を利用されたりして過ごしてもらっている。14時過ぎから順次送るのだが、希望があれば、買い物希望の方、郵便局、JA等に途中立ち寄りながら自宅まで送っている。

現在は車両2台を使用してその日の利用状況を勘案し、2ルートで運行している。利用料は昼食代の実費として毎回500円をいただいている。また、この事業に関連して施設機能開放ということで、施設に設置している筋トレ機器を地域の方に使っていただいで、高齢者の体力維持向上に役立ててもらっている。利用日は毎週木曜日と土曜日として、14時から16時の利用とし、利用料は無料にしている。現在は4名の高齢者が定期的に利用されている。

年間の利用者数は、平成18年度（6月～3月）287名、平成19年度（4月～6月）87名となっている。

活動効果

利用者の声として、これまでは外出するのにタクシーを利用したり、知り合いの方に車で送ってもらったりしていたのが、気兼ねなく利用できてとてもいい。知り合いの方に会って話をする機会が増えてとても楽しいという声も聞かれている。また家族からも、助かっていると感謝の言葉をいただいている。地域の方の反応も、当施設が地域の拠点としての役割を担っていると歓迎していただき、事業の継続を希望する声が聞かれる。

今後の課題

現在利用されている方に対して、満足度、ニーズに関する調査を実施した結果では、皆様が現状に満足していただいている。しかし今後、心身状態の変化とか家庭状況の変化した時が不安であり、そうなった時は回数を増やしたり、もっと多様なニーズに対応してほしいという声も聞かれている。また今後、潜在的利用者へのPR活動もしていかなければならないが、利用者、ニーズが増えてきた場合に現状の体制では対応しきれないケースが出てくる懸念がある。

主な経費や財源の内訳（年間あたり）

<主な経費>	<概算額>
昼食費（1食500円）	¥172,500
<合計>	¥172,500

<主な財源>	<概算額>
・私用者負担額	¥172,500
<合計>	¥172,500

